

令和7年度（相模原城山高等学校）不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上（法令の遵守、服務規律の徹底）	法令遵守の意識を向上させ、公務外の非行を防止する。また、新規採用職員及び臨時的任用職員・会計年度任用職員への指導を徹底する。	<p>① 4月に管理職が、神奈川県職員行動指針を全職員に配付し、法令の遵守や服務規律の徹底について啓発した。また、初任者全員に、教員としての心構えや実際の服務についての研修を実施し、法令遵守の意識付けと公務外非行の防止について指導した。</p> <p>② 8月の不祥事防止研修会で、不祥事防止職員啓発・点検資料「服務規律の遵守」を活用し、職務上の義務、身分上の義務について確認した。</p> <p>○目標は達成された。</p>
職場のハラスメント（パワハラ、セクハラ、マタハラ等）の防止	職員同士が互いにしっかりとコミュニケーションをとり、円滑な人間関係を築き、良好な職場環境をつくる。	<p>① 校長、管理職との面談を実施し、事故や不祥事を未然に防ぐよう取り組んだ。</p> <p>② 1月の不祥事防止会議で、不祥事防止職員啓発・点検資料「職場のハラスメントの防止」を活用し、お互いの人格を尊重することや相互理解を進めハラスメントを予防した。</p> <p>○目標は概ね達成された。</p>
生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	職員一人ひとりがわいせつ・セクハラ行為の未然防止について当事者意識と高い倫理感を持って取り組み、決められたルールを遵守し、生徒に対するわいせつ・セクハラ行為はゼロを目標とする。	<p>① 7月に全職員が教育長メッセージ動画と研修用映像資料を視聴し、高い倫理感を持って全教職員一丸となって取り組む必要があることを周知した。また、不祥事防止会議において携帯電話等の適切な使用について意識啓発を行った。</p> <p>② 7、12月にセクハラ調査を実施し、生徒と適切な距離感をもって指導や対応にあたるよう、注意喚起を行った。</p> <p>○目標は達成された。</p>
体罰、不適切な指導の防止	生徒に対する体罰及び暴言・威迫・無視等の不適切な行為は決して許されない行為であり、生徒指導や部活動において、体罰等を認めない学校風土づくりに努める。	<p>① 7月の不祥事防止研修で、不祥事防止職員啓発・点検資料「体罰、不適切な指導の防止」を活用し、体罰、不適切な指導の防止に向けて、日常の自身の言動を振り返るとともに、人権感覚を踏まえた指導を意識して職務に取り組むことの重要性を確認した。</p> <p>② 12月に体罰調査を実施するにあたり、不適切な行為が決して許されないことについて再度、注意喚起を行った。</p> <p>○目標は概ね達成された。</p>
入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	マニュアルに基づき、点検を確実にを行い、入学者選抜、成績処理及び進路に係る事故を防止する。	<p>① 6月の不祥事防止会議で、不祥事防止職員啓発・点検資料「定期試験・成績処理の事故」を活用し、成績処理業務での事故防止を徹底した。</p> <p>② 12月の不祥事防止研修で、不祥事防止職員啓発・点検資料「入学者選抜の事故防止」を活用し、入学者選抜の事故防止に向け点検・確認を行った。</p> <p>○目標は概ね達成されたが、更に意識啓発が必要である。</p>

個人情報等の管理、情報セキュリティ対策（パスワードの設定、誤廃棄防止）	個人情報の適正管理により、流失事故・誤廃棄を未然に防止する。	<p>① 4月の事故防止会議、校内研修で、不祥事防止職員啓発・点検資料「児童・生徒の個人情報の取扱い」を活用し、成績評価や健康診断、顔写真などさまざまな個人情報の適切な管理について確認した。</p> <p>② 6月の事故防止会議、校内研修で、不祥事防止職員啓発・点検資料「定期試験・成績処理の事故」を活用し、個人情報の適切な管理について確認した。</p> <p>○目標は達成された。</p>
交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通ルール・マナーを遵守し、違反者を出さない。	<p>① 11月の事故防止会議で不祥事防止職員啓発・点検資料を活用し、飲酒運転の根絶とあわせ交通事故や交通法規違反を起こさないように、時間と心にゆとりを持って安全運転に努めることを確認した。</p> <p>○目標は概ね達成された。</p>
業務執行体制の確保等（情報共有、相互チェック体制、業務協力体制）	業務執行上の事故を未然に防止する。	<p>① グループ業務の進捗状況を把握し、期限内に事故なく業務が遂行できるよう業務進行計画の更新を指導した。</p> <p>② 業務は複数体制で行うよう指導し、チェック体制・協力体制を確保し疑問に対する相互の意見交換ができる風通しの良い職場づくりを推進した。</p> <p>○目標は概ね達成された。</p>
財務事務等の適正執行	私費・県費の会計処理をルールに則り適正に執行する。	<p>① 「私費会計基準」を周知し、初任者には研修を行い適正な会計処理を徹底した。</p> <p>② 会計担当者に対し、管理職から随時、支出伝票の作成や執行の手順について指導助言を行い、私費会計基準に則った適正な事務処理を行った。</p> <p>○目標は概ね達成された。</p>

○ 令和7年度における不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と今後の課題（学校長意見）

- ・ 事故不祥事防止研修等により、朝の打合せの機会もあわせて日頃から注意喚起を行い、職員の意識啓発に努めてきた。管理職だけでなく総括教諭、業務担当教諭から、事故不祥事防止の観点からの業務説明を実施し、不祥事ゼロプログラムに取り組んだ。
- ・ 書類の誤配付や誤記載などが散見された。このような事案について検証し、事故の未然防止について、さらに意識を高めていく。
- ・ 交通事故や不適切な指導を防止するために、服務規律の確認や人権意識の尊重についての指導を丁寧に行いながら、引き続き業務執行体制の確立や職場内での声掛け等に取り組んでいく。